

# 第13回 日本の次世代 リーダー養成塾

問い合わせ先: **日本の次世代リーダー養成塾**

専務理事・事務局長 加藤 暁子

(携帯: 090-1113-3914)

〒107-0062 東京都港区南青山5-12-28-403

Tel: 03-5466-0804 Fax: 03-5466-0842

塾期間中(7月24日~8月6日)の事務局連絡先は

福岡県宗像市グローバルアリーナのクラブハウス内

直通電話0940-35-7100/7101

FAX 0940-35-7098

## 18歳選挙権が実施となった2016年夏 日本人高校生とアジアの高校生が 「アジア・ハイスクール・サミット」で 「教育」「医療」「産業」「情報」「食」「異文化・外国人」「環境」 7つの分野で問題を分析し、どんな変革が必要か議論 「ニッポン未来ビジョン」を立案

「日本の次世代リーダー養成塾」は、一般社団法人日本経済団体連合会の榊原定征会長を塾長に日本だけでなく、世界に通用する人材育成を目指した高校生のための2週間のサマースクールです。経済界や地方自治体から日本の将来を背負って立つ人材の育成を目指し、2004年に開塾、今年は13回目を迎えます。卒業生は昨年で2000人を超え、日本や世界を舞台にそれぞれの夢を追いかけて活躍をしています。

### 【日本の高校生に加え、アジア5カ国から高校生が参加】

今年の塾開催期間は7月24日(日)から8月6日(土)で、福岡県宗像市のグローバルアリーナと佐賀県波戸岬少年自然の家で行います。参加者は、書類選考と面接で選ばれた全国28都道府県・米国から集う日本の高校生177人に加え、今年は「アジア奨学生」として、5カ国(中国、マレーシア、モンゴル、タイ、韓国)の17名の高校生を無償で招待し、合計194人の高校生が2週間寝食を共にします。宗像市と宗像市内の各種団体のご支援で「熊本地震被災地特別枠」として7人の被災地高校生が参加します。

### 【一流講師の講義・ディスカッション・民間企業の精鋭によるクラス担任制度】

塾では、日本や世界を代表する学者、経済人ら各界を代表する一流の講師が講義を行います。講師は、マレーシアのマハティール元首相、宗教学者の山折哲雄氏、デザイナーの水戸岡鋭治氏、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構シニアフェロー・宇宙科学研究所宇宙飛行工学研究系教授の川口淳一郎氏、お茶の水女子大学長の室伏きみ子氏、株式会社ぐるなび代表取締役会長の滝久雄氏、榊原英資・青山学院大学特別招聘教授ら28人の講師が全国の高校生に将来の指針を与えます。

講師の講義を踏まえ、講義後90分のクラス別のグループディスカッションを行います。ディスカッションを積み重ねることで、学問のおもしろさを追求するとともに、リーダーとして必要な多面的な思考力や分析力、決断力を養います。クラス担任は協賛企業から派遣された社会人が務め、キャリア教育や夢を語る「夢ディスカッション」の時間も設け、近々学生を卒業し、社会へ出る自分のイメージを膨らませます。また、塾生を指導する大学生のボランティアは卒業生らが務めます。さらに1部屋20人の2段ベッドによる共同生活を通して、自己管理能力を養います。

## 【アジア・ハイスクール・サミット2016】

塾の大きな取り組みの一つとしてプロジェクト型のプログラム「アジア・ハイスクール・サミット」を行います。日本人の高校生とアジアの高校生が2週間かけて議論して、混沌とした世界情勢の中で、ニッポンの将来のあるべき姿を描きます。



今、アジア、中東、欧州など世界に目を転じると、激動の時代に突入しています。世界各地で汚職や拝金主義がはびこり、資本主義が崩壊しつつあります。第二次世界大戦後、経済成長を追い求めるあまり、美しい地球の環境が著しく損なわれています。環境問題もその一つです。冷戦の時代が終焉したにもかかわらず、戦争は終わらず、国家対国家という相手が分かり外交交渉の余地を残した戦争から、敵の姿が見えないテロが世界各地で横行しています。中東では、内戦の激化で難民が続々ヨーロッパへ移動し、豊かな生活のパイを奪われたくないヨーロッパの人々が移民の受け入れに反対して、内向きになっています。英国のEU離脱が顕著な例です。

こんな世界情勢の中で、日本は安穩としている状況ではありません。国内でも長期にわたる経済の低迷で、格差は拡大し、今、子どもの貧困が問題となっています。本格的な高齢化社会に突入し、医療や福祉の問題解決は待たなすです。今年4月には熊本地震が起こるなど東日本大震災以降、巨大地震が日本列島を震わせ、豪雨など天災に見舞われています。国境を越えてくるPM2.5も新たな環境問題です。日本が将来にわたって生き抜くためには、新たな産業を生み出すこと、今ある産業の再構築が必要です。様々な分野でのドラスティックな変革を起こさない限り、日本は沈没をしかねません。

そこで、今年の「アジア・ハイスクール・サミット」では、①教育②医療③産業④情報⑤食⑥異文化・外国人⑦環境—の7つのテーマで分科会を開きます。まず、それぞれのテーマで問題点を洗い出した上で、7月29日（金）には、各テーマに基づき、福岡県内の企業や地方自治体、施設、団体などを塾生自身が探して、フィールドリサーチをします。その後、議論を深め、「ニッポン未来ビジョン」を立てます。

8月5日（金）午前、日本に見習えという「ルック・イースト政策」を国是としたマレーシアのマハティール元首相の前で「ニッポン未来ビジョン」を発表した上で、マハティール氏に講評をいただきます。そして、「混沌とした世界情勢下で次世代リーダーが果たす役割」と題して、20年以上首相を務め、数々の国際紛争や経済危機を克服したマハティール氏に次世代へのメッセージを託していただきます。

## 【日本列島と朝鮮半島の交流史を学ぶ佐賀フィールドトリップ】

7月27日～28日は、佐賀にて日本列島と朝鮮半島の交流史を学びます。今年は、朝鮮半島から連れて来られた陶工によって始まった白磁有田焼の創業400年記念の年。有田町を訪ね、有田焼の歴史と未来を学びます。

### ～有田町にて地場産業の伝統と革新について考える～

佐賀県立九州陶磁文化館を訪れ、有田焼の歴史について学びます。また、同館にて「有田焼創業400年～地場産業の伝統と革新～」という演題で、鈴田由紀夫館長、有田焼の陶祖である李参平の子孫の十四代李参平氏、伝統を守りつつ革新的なスタイルでヨーロッパ市場にも挑戦する株式会社百田陶園の百田憲由社長による、講義ならびにパネルディスカッションを行います。その後、大有田焼会館にて赤絵師の指導のもと絵付け体験を行います。また、初代が日本で初めて赤絵付けの技術に成功し、秘伝の「濁手」の技法でも世界に大きな影響を与えた柿右衛門窯（重要無形文化財）、鍋島様式の品格を保ちつつ新しい技法に果敢に挑戦する今右衛門窯（重要無形文化財）、そして古伊万里様式を発展させて手作りに徹底的にこだわる源右衛門窯を、特別に見学させていただきます。有田町内も散策し、地元の方との交流を通して、学びを深めます。

## ～佐賀県立名護屋城博物館を見学～

佐賀県立名護屋城博物館は、日本列島と朝鮮半島との長い交流の歴史をたどり、双方の交流・友好の推進拠点となることを目指して、1993年に開館しました。豊臣秀吉が朝鮮出兵の際に拠点としたことで知られる肥前名護屋城。塾では、実際に名護屋城跡を見学し、タブレット端末により当時の名護屋城の様子を再現できる「バーチャル名護屋城」を体験します。また、日本と朝鮮半島のこれまでの歴史に関する貴重な資料が展示された展示室を見学することで、日本と朝鮮半島がどのような歴史を歩んできたのかを学び、今後の平和のあり方について考えます。(名護屋城博物館 HP より抜粋)

当日は、当博物館学芸課企画普及担当係長の廣瀬雄一氏に「アジアの中の日本 過去・現在・そして未来」という演題でお話をさせていただきます。

名護屋城博物館では、映画プロデューサーの李鳳宇氏、薩摩焼十五代沈壽官氏にご講義いただきます。

「日本の次世代リーダー養成塾」期間中の取材にお越しの際は、必ず事前に、以下にご連絡ください。

(連絡先)

### ○ 塾期間中(7月24日～8月6日)の事務局連絡先

福岡県宗像市グローバルアリーナのクラブハウス内直通電話 0940-35-7100/7101

FAX 0940-35-7098

○ 上記期間以外の事務局連絡先:03-5466-0804 FAX 03-5466-0842

○ 日本の次世代リーダー養成塾専務理事・事務局長の加藤 暁子の携帯番号は、090-1113-3914です。

## 【添付資料】

リーダー塾ロゴマークについて

事業概要

講師・講義内容一覧

カリキュラム表

アジア・ハイスクール・サミット

塾生概要

塾生高校一覧

アジア奨学生概要

熊本地震被災地特別枠

役員等名簿

# 日本の次世代リーダー養成塾 ロゴマーク 誕生！！



2016年7月、リーダー塾の顔となる待望のロゴマークが誕生しました。デザインは、九州を舞台に走る日本初のクルーズトレイン「ななつ星」など鉄道車両・建築・グラフィック・プロダクトなど、様々なジャンルのデザインに挑戦し続け、日本や世界で多くの賞を受賞されている水戸岡鋭治先生が手がけてくださいました。

ロゴマークのモチーフは星とハートです。リーダーは一步先を歩き、人々に光を照らさなければなりません。真っ暗な砂漠の中を歩いたことはありますか。闇の中に光輝く星ほど大切な羅針盤はありません。世界から戦争をなくし、この地球で暮らす人々が、お互いの人種、宗教、文化を尊重し、「和」を大切にする惑星となるために、お手伝いをしてほしい。

温かい心を持って、世のため、人のために尽くす。そんな次世代が切磋琢磨する集まりが「日本の次世代リーダー養成塾」です。

「J」とは、日本（JAPAN）の地に集う次世代。正義感（JUSTICE）を持って、人々をリードしていくためには、まず、自己研鑽を惜しまず、今の自分から飛躍（JUMP）してほしい。そして、世界がよくなるために、人々をつなぐ（JOINT）存在となってほしい。

ブルーは青い地球。アースカラーは豊かな大地の色を示しています。混沌とした世の中だからこそ、皆さんには切磋琢磨してこの地球を守ってほしい。世界を舞台に飛躍し、夢に向かって努力し実現する次世代を私たちは応援します。その願いが、このロゴマークに込められています。



水戸岡鋭治氏

Photo by 白鳥真太郎

## 第13回日本の次世代リーダー養成塾 事業概要

### 1 主催者

日本の次世代リーダー養成塾

塾長：榊原定征／一般社団法人日本経済団体連合会会長

### 2 開催日程

2016年7月24日（日）～8月6日（土）

### 3 開催・宿泊施設

グローバルアリーナ（福岡県宗像市吉留46-1）

波戸岬少年自然の家（佐賀県唐津市鎮西町名護屋5581-1）

※自然の家は7月27日（水）～7月29日（金）の2泊3日で宿泊

### 4 塾生

対象：高校生（1年生～3年生） 194名

[内訳]・参画県推薦枠 121名

（北海道、青森県、岩手県、静岡県、岐阜県、和歌山県、愛媛県、福岡県、佐賀県、  
福岡県宗像市、同県古賀市、沖縄県うるま市）

・全国からの一般公募枠 49名

・熊本地震被災地特別枠 7名

・アジア奨学生 17名 [非公募]

### 5 カリキュラム概要

#### ① 各界を代表する講師陣による講義

- 教養系（哲学、近現代経済・文明史、医学、科学、芸術など）

日本や世界を代表する講師が高校生に知的好奇心を湧かせる講義をします。

- ビジネス系（日本企業の強みと弱み、ビジネスのしくみなど）

世界を相手にビジネスの最先端で日夜活躍する講師が、日本の企業の強みや弱み、ひいては日本の国のあり方を伝えます。

- 国際系（国際問題や外交、国連やNGO活動への理解）

世界に目を向け、日本人としてのアイデンティティを持ち、国際舞台で活躍できる力をつけます。

- 人間学（将来の夢をどう具現化するか、リーダーとしての生き方など）

人生の先達が21世紀の日本を背負って立つ人材に必要なことは何かを語ります。

#### ② 講義後のディスカッション

講義終了後にクラス担任の指導のもと、1クラス約28名によるグループディスカッションを行います。クラス担任は、日本を代表する企業の中堅社員が務めます。

#### ③ プロジェクト型企画「アジア・ハイスクール・サミット」

アジア諸国から17名の高校生を招待し、2週間を通して社会課題の解決に向けた議論を行い、具体案を提言する「アジア・ハイスクール・サミット」を開催します。

#### ④ フィールドトリップ

- 有田焼創業400年を記念し、佐賀県有田町を訪れ、佐賀県立九州陶磁文化館や窯元などの見学、絵付け体験を行い、日本の伝統文化やその継承、地場産業のあり方について考えます。
- 佐賀県立名護屋城博物館にて当時の貴重な資料や遺産を見学し、日本と朝鮮半島間の歴史を学びます。
- 「アジア・ハイスクール・サミット」のテーマに関連する企業や自治体の機関などを訪問し、第一線で働く方々からお話を聞き、現状調査を行います。

# 第13回日本の次世代リーダー養成塾

## 講師・講義内容一覧

講師 28 名（敬称略、五十音順）

1. あかし やすし  
明石 康 / 元国連事務次長・公益財団法人国際文化会館理事長  
「世界の中の日本—もっと外に開く国に」  
“Japan in the world—towards a more open, dynamic country”
2. あそ う ゆたか  
麻生 泰 / 株式会社麻生代表取締役会長・一般社団法人九州経済連合会会長  
「これからの時代に必要なリーダーとは -与えられた一度の人生-」
3. あそ う わたる  
麻生 渡 / 前全国知事会会長・学校法人福岡工業大学最高顧問  
「選挙権、女性の大活躍推進そして近現代世界史を学ぶ」
4. いまむら まさはる  
今村 正治 / 立命館アジア太平洋大学副学長  
「『混ぜる教育・APU』と『混ざる街・別府』から、日本の未来を考える」
5. おがわ ひろし  
小川 洋 / 福岡県知事  
「世界にはばたく！未来のリーダーたちへ」
6. かいだま ちこ  
甲斐田万智子 / 認定NPO法人国際子ども権利センター代表理事・文京学院大学教授  
「世界の子どもたちの人権状況と活躍する子どもたち」
7. かさや かずひこ  
笠谷和比古 / 国際日本文化研究センター名誉教授  
「伝統文化を活用した地域興し—京都西山大原野と オペラ『業平 *Narihira*』—」
8. かわかつ へい た  
川勝平太 / 静岡県知事  
「日本国憲法について」
9. かわぐち じゅんいちろう  
川口淳一郎 / 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 シニアフェロー  
宇宙科学研究所 宇宙飛翔工学研究系 教授  
「やれる理由こそが着想を生む。-『はやぶさ式思考法』」
10. こてがわ きょうじ  
小手川強二 / フンドーキン醤油株式会社代表取締役社長  
「発酵食品の魅力」
11. さかさばら えいすけ  
榎原 英資 / 青山学院大学特別招聘教授  
「幼児化する日本」
12. すずた ゆき お  
鈴田由紀夫 / 佐賀県立九州陶磁文化館館長  
「有田焼創業 400 年～地場産業の伝統と革新～」
13. たき ひさお  
滝 久雄 / 株式会社ぐるなび代表取締役会長・創業者  
株式会社NKB取締役会長・創業者  
「やらなければならないことは、やりたいことにしよう！」
14. ちん じゅかん  
沈 壽官 / 薩摩焼十五代  
「伝統を守り現代を表現する」

15. なかむら としろう  
中村 俊郎 / 中村ブレイス株式会社代表取締役社長  
「義肢装具作りの半生『新たなアスリートとの出会い』」
16. ひろせ ゆういち  
廣瀬 雄一 / 佐賀県立名護屋城博物館学芸課企画普及担当係長  
「アジアの中の日本 過去・現在・そして未来」
17. まつお よしゆき  
松尾 嘉之 / 有田焼赤絵師  
「君の一筆が国宝に！？有田焼絵付体験」
18. マハティール・モハマド / マレーシア元首相  
「混沌とした世界情勢下で次世代リーダーが果たす役割」  
“What is the role for future leaders in Asia facing this chaotic world”
19. み と おかえいじ  
水戸岡鋭治 / デザイナー、株式会社ドーンデザイン研究所代表取締役  
「デザインは公共のために」
20. むらおか こうじ  
村岡 浩司 / 有限会社一平代表取締役  
「九州パンケーキ、世界への挑戦！」
21. むろふし こ  
室伏きみ子 / お茶の水女子大学長  
「研究者という生き方 — 女性研究者としての経験に基づいて」
22. ももた のりゆき  
百田 憲由 / 株式会社百田陶園代表取締役社長  
「有田焼創業 400 年～地場産業の伝統と革新～」
23. やすだ よしのり  
安田 喜憲 / ふじのくに地球環境史ミュージアム館長  
前東北大学大学院環境科学研究科教授・国際日本文化研究センター名誉教授  
「災害と文明：生命文明の時代を招来する」
24. やまおり てつお  
山折 哲雄 / 宗教学者  
「継子いじめの虐待物語～お能と落語～」
25. やまね まさじ  
山根 正司 / 三井物産株式会社プロジェクト本部国内プロジェクト開発部長  
「先進国日本における構造変化～経済面から見た将来像」
26. り さんべい  
李 参平 / 有田焼十四代  
「有田焼創業 400 年～地場産業の伝統と革新～」
27. り ほんう  
李 鳳宇 / 映画プロデューサー・株式会社 RESPECT 代表取締役  
「映画で養う想像力」
28. かとう あきこ  
加藤 暁子 / 日本の次世代リーダー養成塾専務理事・事務局長  
公益財団法人 A F S 日本協会理事長  
「激動の時代をリーダーとして生き抜く」

第13回 日本の次世代リーダー養成塾 カリキュラム表 (2016年7月24日～8月6日)

敬称略 2016/07/21

日	日	6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00	
1	7/24 (日)									受付		入塾式	小川 洋 福岡県知事	レポート	夕食	スタッフ・施設紹介	入浴	就寝準備		
2	7/25 (月)		朝食		HR	榑原英資 青山学院大学特別招聘教授	レポート	オリエンテーション	昼食	委員会	加藤暁子 日本の次世代リーダー養成塾専務理事・事務局長	レポート	アジア・ハイスクール・サミット	夕食	アジア学生プレゼンテーション	HR		就寝準備	就寝	
3	7/26 (火)		朝食	掃除	キャリア教育	中村俊郎 中村プレス株式会社社長	レポート	アジア・ハイスクール・サミット	昼食		川勝平太 静岡県知事	レポート	滝久雄 株式会社ぐるなび会長・創業者	レポート	佐賀行きオリエンテーション	夕食	HR	ビデオ学習	就寝準備	就寝
4	7/27 (水)	佐賀	掃除片付け	荷物移動	移動・朝食	翁田由紀夫 九州陶磁文化館館長 有田焼十四代季参平 百田憲由 株式会社百田陶園社長	弁当昼食	九州陶磁文化館見学 絵付け体験 松尾嘉之 赤絵師		有田町内見学		移動		入所式	夕食	HR	夕食	就寝準備	就寝	
5	7/28 (木)	佐賀	朝のつどい	朝食・掃除	移動	廣瀬雄一 名護屋城博物館企画普及担当係長	名護屋城博物館見学	映像鑑賞	李 鳳宇 映画プロデューサー	レポート	弁当昼食	十五代沈壽官 薩摩焼十五代	レポート	名護屋城本丸跡地見学	移動	夕食	HR	アジア・ハイスクール・サミット	就寝準備	就寝
6	7/29 (金)	佐賀	朝のつどい	朝食・掃除	荷物移動	退所式	移動	昼食	移動	アジア・ハイスクール・サミット フィールドリサーチ		移動	荷物移動	夕食	アジア・ハイスクール・サミット		就寝準備	就寝		
7	7/30 (土)	担任交代	朝食	掃除	書禅	アジア・ハイスクール・サミット		明石 康 元国連事務次長	レポート	昼食	村岡浩司 有限会社一平 社長	レポート	ディスカッション	レポート	夕食	HR		就寝準備	就寝	
8	7/31 (日)		朝食	掃除	書禅	安田 喜憲 ふじのくに地球環境史ミュージアム館長	アジア・ハイスクール・サミット 中間発表	昼食		卒業生発表		みそ汁コンテスト	審査発表	小手川強二 フンドーキン醤油株式会社社長	レポート	片付け	HR		就寝準備	就寝
9	8/1 (月)		朝食	掃除	書禅	キャリア教育		甲斐田万智子 認定NPO法人国際子ども権利センター代表理事	レポート	昼食	川口淳一郎 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 シニアフェロー 宇宙科学研究所 宇宙飛行工学研究系 教授	レポート	山根正司 三井物産株式会社プロジェクト本部 国内プロジェクト開発部長	レポート	HR	夕食	アジア・ハイスクール・サミット		就寝準備	就寝
10	8/2 (火)		朝食	掃除	書禅	今村正治 立命館アジア太平洋大学副学長	レポート	水戸岡鋭治 デザイナー	レポート	昼食	麻生 泰 株式会社麻生会長 一般社団法人九州経済連合会会長	レポート	ディスカッション	レポート	HR	夕食	アジア・ハイスクール・サミット		就寝準備	就寝
11	8/3 (水)		朝食	掃除	書禅	笠谷和比古 国際日本文化研究センター名誉教授	レポート	ディスカッション	レポート	昼食	室伏きみ子 お茶の水女子大学長	レポート	麻生 渡 学校法人福岡工業大学 最高顧問	レポート	HR	夕食	アジア・ハイスクール・サミット		就寝準備	就寝
12	8/4 (木)		朝食	掃除	書禅	山折哲雄 宗教学者	レポート	アジア・ハイスクール・サミット	レポート	昼食	アジア・ハイスクール・サミット発表		サミットふりかえり	HR	夕食	夢ディスカッション 1～3組	夢ディスカッション 4～7組	就寝準備	就寝	
13	8/5 (金)		朝食	掃除	書禅	AHS 英語発表	マハティール・モハマド マレーシア元首相	レポート	昼食	目標宣言	ふりかえり	HR	夕食	卒業前夜祭				就寝準備	就寝	
14	8/6 (土)		掃除	朝食	掃除確認	片づけ確認	卒業式	挨拶など	記念撮影	歓談	帰路へ									



## 「アジア・ハイスクール・サミット2016～ニッポン未来ビジョン～」趣旨

リーダー塾では、一流の講師の先生方の講義を拝聴するだけでなく、さらに踏み込んで日本や世界が将来どうあるべきかを真剣に考えるプロジェクトに挑みます。2週間を通して、日本とアジアの高校生が本音で語り、徹底的に議論して政策を打ち出す「アジア・ハイスクール・サミット」を開催します。今年は、中国、マレーシア、モンゴル、タイ、韓国の5か国から高校生が参加します。

今、アジア、中東、欧州など世界に目を転じると、激動の時代に突入しています。世界各地で汚職や拝金主義がはびこり、資本主義が崩壊しつつあります。第二次世界大戦後、経済成長を追い求めるあまり、美しい地球の環境が著しく損なわれています。環境問題もその一つです。冷戦の時代が終焉したにもかかわらず、戦争は終わらず、国家対国家という相手が分かり外交交渉の余地を残した戦争から、敵の姿が見えないテロが世界各地で横行しています。中東では、内戦の激化で難民が続々ヨーロッパへ移動し、豊かな生活のパイを奪われたくないヨーロッパの人々が移民の受け入れに反対して、内向きになっています。英国のEU離脱が顕著な例です。

こんな世界情勢の中で、日本は安穩としている状況ではありません。国内でも長期にわたる経済の低迷で、格差は拡大し、今、子どもの貧困が問題となっています。本格的な高齢化社会に突入し、医療や福祉の問題解決は待たなしです。今年4月には熊本地震が起るなど東日本大震災以降、巨大地震が日本列島を震わせ、豪雨など天災に見舞われています。国境を越えてくるPM2.5も新たな環境問題です。日本が将来にわたって生き抜くためには、新たな産業を生み出すこと、今ある産業の再構築が必要です。様々な分野でのドラスティックな変革を起こさない限り、日本は沈没をしかねません。

今年から選挙権が18歳に引き下げられ、高校生にも社会の一員としてリーダーを選ぶ権利が与えられます。一票を投じるということは、よりよい社会づくりに貢献できるリーダーを選ぶことです。大人のひとりとして、社会の様々な問題に興味感心を持ち、課題を知り、その解決策を自分の頭で考えることをしていかなければなりません。

今年のサミットでは、将来の日本がどうあるべきか、世界の情勢を考えながら、高校生の目の前にある身近な課題に取り組みます。①教育 ②医療 ③産業 ④情報 ⑤食 ⑥異文化・外国人 ⑦環境—の7つのテーマごとに分科会で議論をします。7月29日(金)には、各テーマに基づき、福岡県内の企業や地方自治体、施設、団体などを塾生自身が探して、フィールドリサーチをします。その後、議論を深め、「ニッポン未来ビジョン」を立てます。

それぞれの分科会は2チームで構成され、最後には分野を問わず全14チームによる「ニッポン未来ビジョン」の政策を競います。

### 【塾期間中のスケジュール】

- 7月25日（月） チームの課題を設定。7月29日（金）のフィールドリサーチのための訪問企業・団体先の候補選出。
- 7月26日（火） グループ・ディスカッション、フィールドリサーチ準備
- 7月28日（木） グループ・ディスカッション、フィールドリサーチ準備
- 7月29日（金） フィールドリサーチにて、福岡市内、北九州市内などの企業・団体などをチームごとに訪問
- 7月30日（土） グループ・ディスカッション
- 7月31日（日） 中間発表
- 8月1日（月） グループ・ディスカッション
- 8月2日（火） グループ・ディスカッション
- 8月3日（水） グループ・ディスカッション
- 8月4日（木） 午前中発表準備、午後発表・投票・講評・振り返り
- 8月5日（金） マハティール氏の前で発表・講評

## 第13回日本の次世代リーダー養成塾 塾生概要

受講者総数 177名(男子74名・女子103名) 28都道府県1ヶ国(アメリカ)

○参画県推薦枠 121名(男子55名・女子66名)

合格予定者数				
1	北海道	11名	(男子 4名)	(女子 7名)
2	青森県	11名	(男子 6名)	(女子 5名)
3	岩手県	8名	(男子 3名)	(女子 5名)
4	静岡県	11名	(男子 6名)	(女子 5名)
5	岐阜県	11名	(男子 6名)	(女子 5名)
6	和歌山県	11名	(男子 5名)	(女子 6名)
7	愛媛県	12名	(男子 4名)	(女子 8名)
8	福岡県	23名	(男子 11名)	(女子 12名)
9	宗像市	6名	(男子 0名)	(女子 6名)
10	古賀市	1名	(男子 1名)	(女子 0名)
11	佐賀県	14名	(男子 8名)	(女子 6名)
12	うるま市	2名	(男子 1名)	(女子 1名)
<b>計</b>		<b>121名</b>	<b>(男子 55名)</b>	<b>(女子 66名)</b>

○一般公募枠 49名(男子17名・女子32名)

合格予定者数				
1	山形県	1名	(男子 1名)	(女子 0名)
2	福島県	1名	(男子 0名)	(女子 1名)
3	群馬県	2名	(男子 2名)	(女子 0名)
4	千葉県	2名	(男子 2名)	(女子 0名)
5	東京都	9名	(男子 2名)	(女子 7名)
6	神奈川県	5名	(男子 1名)	(女子 4名)
7	山梨県	1名	(男子 0名)	(女子 1名)
8	静岡県	1名	(男子 0名)	(女子 1名)
9	愛知県	2名	(男子 1名)	(女子 1名)
10	三重県	1名	(男子 0名)	(女子 1名)
11	京都府	1名	(男子 1名)	(女子 0名)
12	大阪府	3名	(男子 2名)	(女子 1名)
13	兵庫県	2名	(男子 0名)	(女子 2名)
14	和歌山県	1名	(男子 0名)	(女子 1名)
15	広島県	1名	(男子 0名)	(女子 1名)
16	香川県	1名	(男子 1名)	(女子 0名)
17	福岡県	8名	(男子 2名)	(女子 6名)
18	長崎県	2名	(男子 0名)	(女子 2名)
19	熊本県	1名	(男子 0名)	(女子 1名)
20	大分県	1名	(男子 0名)	(女子 1名)
21	宮崎県	1名	(男子 1名)	(女子 0名)
22	アメリカ	2名	(男子 1名)	(女子 1名)
<b>計</b>		<b>49名</b>	<b>(男子 17名)</b>	<b>(女子 32名)</b>

○熊本地震被災地特別枠 7名(男子2名・女子5名)

合格予定者数				
1	熊本県	7名	(男子 2名)	(女子 5名)
<b>計</b>		<b>7名</b>	<b>(男子 2名)</b>	<b>(女子 5名)</b>

# 第13回日本の次世代リーダー養成塾 塾生学校一覧

28都道府県 1ヶ国(アメリカ)、129校

学校所在地	学校名
北海道	北海道札幌国際情報高等学校
	北海道札幌西陵高等学校
	北海道札幌東商業高等学校
	北海道登別明日中等教育学校
	北海道美幌高等学校
	北海道夕張高等学校
	私立遺愛女子高等学校
私立立命館慶祥高等学校	
青森県	青森県立青森高等学校
	青森県立三本木高等学校
	青森県立八戸高等学校
	私立青森明の星高等学校
	私立松風塾高等学校
	私立八戸工業大学第二高等学校
	私立八戸聖ウルスラ学院高等学校
岩手県	岩手県立一関第一高等学校
	岩手県立軽米高等学校
	岩手県立西和賀高等学校
	岩手県立花泉高等学校
	岩手県立水沢高等学校
山形県	私立山形学院高等学校
福島県	福島県立白河高等学校
群馬県	太田市立太田高等学校
群馬県	私立共愛学園高等学校
千葉県	私立暁星国際高等学校
	私立麗澤高等学校
東京都	東京都立大島海洋国際高等学校
	私立恵泉女子学園高等学校
	渋谷教育学園渋谷高等学校
	私立自由学園高等科
	私立昭和女子大学附属昭和高等学校
	私立聖ドミニコ学園中学高等学校
	世田谷学園高等学校
	私立田園調布雙葉高等学校
神奈川県	神奈川県立神奈川総合高等学校
	横浜市立南高等学校
	私立カリタス高等学校
	私立慶應湘南藤沢高等部
私立桐光学園高等学校	
山梨県	北杜市立甲陵高等学校
静岡県	静岡県立清水東高等学校
	静岡県立沼津工業高等学校
	静岡県立榛原高等学校
	静岡県立浜松北高等学校
	静岡県立浜松西高等学校
	静岡市立高等学校
	静岡学園高等学校
	静岡サレジオ高等学校
静岡聖光学院高等学校	
岐阜県	岐阜県立大垣桜高等学校
	岐阜県立岐阜高等学校
	岐阜県立岐阜農林高等学校
	岐阜県立関高等学校
	岐阜県立多治見北高等学校
	私立鶯谷高等学校
	私立城南高等学校
私立帝京大学可児高等学校	
愛知県	愛知県立時習館高等学校
名古屋大学教育学部附属高等学校	
三重県	私立メリノール女子学院高等学校
京都府	学校法人ヴィアートル学園洛星高等学校
大阪府	私立関西学院千里国際高等部
兵庫県	兵庫県立芦屋国際中等教育学校
兵庫県	私立三田学園高等学校

学校所在地	学校名
和歌山県	私立開智高等学校
	私立近畿大学附属和歌山高等学校
	私立智辯学園和歌山高等学校
	私立和歌山信愛高等学校
広島県	学校法人広島加計学園英数学館高等学校
香川県	香川誠陵中学校・高等学校
愛媛県	愛媛県立今治西高等学校
	愛媛県立伊予高等学校
	愛媛県立宇和島東高等学校
	愛媛県立宇和島南中等教育学校
	愛媛県立大洲高等学校
	愛媛県立西条高等学校
	愛媛県立新居浜西高等学校
	愛媛県立松山西中等教育学校
	愛媛県立松山東高等学校
	愛媛県立松山南高等学校
愛媛県立三崎高等学校	
愛媛県立八幡浜高等学校	
福岡県	福岡県立朝倉高等学校
	福岡県立ありあけ新世高等学校
	福岡県立育徳館高等学校
	福岡県立輝翔館中等教育学校
	福岡県立玄洋高等学校
	福岡県立筑紫丘高等学校
	福岡県立東筑高等学校
	福岡県立戸畑高等学校
	福岡県立博多青松高等学校
	福岡県立福岡高等学校
	福岡県立三池高等学校
	福岡県立宗像高等学校
	福岡県立山門高等学校
	私立久留米信愛女学院高等学校
	私立久留米大学附設高等学校
	私立上智福岡中学高等学校
	私立西南女学院高等学校
私立筑紫女学園高等学校	
東海大学附属福岡高等学校	
私立福岡工業大学附属城東高等学校	
福岡大学附属大濠高等学校	
私立明治学園高等学校	
屋久島おおぞら高等学校 <small>(KTC中央高等学院小倉校舎)</small>	
佐賀県	佐賀県立伊万里高等学校
	佐賀県立唐津東高等学校
	佐賀県立唐津南高等学校
	佐賀県立佐賀西高等学校
	佐賀県立多久高等学校
	佐賀県立武雄高等学校
	私立弘学館高等学校
私立早稲田佐賀高等学校	
長崎県	長崎県立対馬高等学校
	長崎県立佐世保北高等学校
熊本県	熊本県立宇土高等学校
	熊本県立第一高等学校
	熊本県立第二高等学校
	熊本県立玉名高等学校
	熊本県立東稜高等学校
	私立熊本学園大学附属高等学校
学校法人尚綱学園尚綱高等学校	
私立真和高等学校	
大分県	大分県立大分商業高等学校
宮崎県	宮崎県立宮崎西高等学校
沖縄県	沖縄県立中部農林高等学校
	沖縄県立与勝高等学校
アメリカ	私立Village Christian School 高等部
アメリカ	Westover School

## 第13回日本の次世代リーダー養成塾 アジア奨学生概要

●奨学生総数 17名（男子7名・女子10名）

1	中国	4名	(男子 2名)	(女子 2名)
2	マレーシア	4名	(男子 2名)	(女子 2名)
3	モンゴル	2名	(男子 1名)	(女子 1名)
4	韓国	5名	(男子 2名)	(女子 3名)
5	タイ	2名	(男子 0名)	(女子 2名)
計		17名	(男子 7名)	(女子 10名)

●奨学生学校一覧(5ヶ国、10校)

学校所在地	学校名
中国	成都外国語学校
	石家荘外国語学校
マレーシア	帝京マレーシア日本語学院
モンゴル	新モンゴル小中高一貫学校
韓国	耕慧女子高等学校
	釜山機械工業高等学校
	釜山情報観光高等学校
	大洋電子通信高等学校
タイ	Triamudomsuksa School
	Yothinburana School

# 熊本地震被災地高校生を無償で招待

このたびの熊本地震におきまして被災された皆さま、心よりお見舞いを申し上げます。

日本の次世代リーダー養成塾では、今年4月に発生した熊本地震に伴い、熊本地震被災地特別枠を設け、災害救助法の適用市町村に指定されている地域の高校生を無償で招待することとしました。参加する高校生は、熊本県から7人です。

開催地である福岡県宗像市に下記5つの団体よりお寄せいただいた支援金から、熊本地震被災地特別枠の参加費と交通費を助成していただきました。心より感謝をいたします。

岬地区自治会  
京泊東区  
宗像市上八一区中原班  
宗像ユリックス 24時間EKIDEN実行委員会  
鐘崎ふくはえ縄船団

塾開催期間中には、「アジア・ハイスクール・サミット」（別紙参照）で、高校生による「ニッポン未来ビジョン」を策定します。熊本地震被災地特別枠の高校生の参加により、被災地からの建設的な意見が議論に反映され、全国から参加する高校生が共に切磋琢磨して、日本の将来を担う人財として、明るい希望の星となることを確信しています。

熊本地震被災地特別枠で参加する塾生の高校は、以下の通りです。

熊本県立宇土高等学校  
熊本県立第一高等学校  
熊本県立第二高等学校  
熊本県立東稜高等学校  
私立熊本学園大学附属高等学校  
学校法人尚綱学園尚綱高等学校  
私立真和高等学校

## 主催者からのメッセージ

**榑原定征** 塾長（一般社団法人 日本経済団体連合会 会長）



世界から信頼され豊かで活力溢れる国を実現することが、日本の目指すべき未来だと思います。そのためには、技術革新はもとより、政治、経済、社会など、国民生活全般にわたるイノベーションを進め、旧来の制度や慣行に捉われず、新しい変革を起こしていく必要があります。同時に、グローバル化の中で、日本の強みを世界に積極的に発信するとともに、海外の活力を取り込んでいくことが重要となっています。

このことは、若きリーダーの存在と活躍抜きには成し得ません。日本、そして世界を舞台に活躍する若者が「新しい日本を創り、世界に挑戦する」との強い気概を持ち、困難にも果敢に挑むことで、日本の進むべき道が切り開かれていくものと確信しています。

次代を担う高校生の皆さんには、本塾で、同じ志を持つ仲間と切磋琢磨し、教養を深め、視野を広げ、様々な課題に真正面から取り組んでいただきたいと思います。そして、未来を担うリーダーとしての強固な礎を構築されることを心より願っております。

### 「日本の次世代リーダー養成塾」役員等名簿

（五十音順）

塾長	榑原 定征／一般社団法人日本経済団体連合会会長
塾長代理	榑原 英資／青山学院大学特別招聘教授
筆頭理事	小川 洋／福岡県知事
理事	浅野 史郎／神奈川大学特別招聘教授
理事	麻生 渡／前全国知事会会長・学校法人福岡工業大学最高顧問
（顧問兼務）	
理事	石原 進／九州旅客鉄道株式会社相談役
理事	榎本 一彦／福岡地所株式会社代表取締役会長
理事	川勝 平太／静岡県知事
理事	小島 順彦／三菱商事株式会社相談役
理事	高橋 温／三井住友信託銀行株式会社特別顧問
理事	高橋 はるみ／北海道知事
理事	滝 久雄／株式会社ぐるなび代表取締役会長・創業者 株式会社NKB取締役会長・創業者
理事	達増 拓也／岩手県知事
理事	谷井 博美／福岡県宗像市長
理事	張 富士夫／トヨタ自動車株式会社名誉会長
理事	中村 時広／愛媛県知事
理事	仁坂 吉伸／和歌山県知事
理事	橋田 紘一／株式会社九電工相談役
理事	古田 肇／岐阜県知事
理事	松尾 新吾／九州電力株式会社相談役
理事	溝上 泰弘／株式会社ミズ代表取締役会長
理事	三村 申吾／青森県知事
理事	宗政 伸一／株式会社サニックス代表取締役社長
理事	山口 祥義／佐賀県知事
専務理事	加藤 暁子
（事務局長兼務）	
監事	薬真寺 偉臣／九州電力株式会社取締役常務執行役員